

平成30年度

学校関係者評価委員会報告書

平成31年9月

学校法人鹿光学園
青山製図専門学校

1. 学校関係者評価委員（アイウエオ順）

白井 誠 氏	株式会社 ROOTS 代表取締役
遠藤 和広 氏	有限会社 EOSplus（イオスプラス）代表取締役
駒田 裕樹 氏	株式会社秀建 代表取締役
古垣 哲史 氏	清水建設株式会社
丹羽 健夫 氏	株式会社叶設計 代表取締役
見留 徹 氏	株式会社ストリーム 取締役

2. 青山製図専門学校学内

山崎 輝夫	校長
中田 隆彦	法人本部長
長嶋 高志	副校長
新井 長秀	副校長
平城 一公	法人本部入学相談室室長
長嵩 史明	インテリア学部部長
武井 克憲	建築学部次長
栗山 雅之	インテリア学部次長
佐藤順一郎	教務課課長（事務局）
西原 雄一	教務課（事務局）

3. 学校関係者評価対象期間

平成30年4月1日～平成31年3月31日（平成30年度）

4. 委員会開催について

令和1年9月6日（金）に、青山製図専門学校3号館3階301教室にて、委員会を開催しました。実施にあたりまして、すでにホームページにて公開しております「平成30年度自己評価報告書」の内容について事務局より説明し、評価結果についてのご意見をいただきました。ご意見の内容につきましては、本報告書として取りまとめ、学内の会議やミーティングにて周知の上、これからの学校運営や教育活動の継続的改善にいかします。

5. 評価結果の公表について

評価結果について、ホームページで公表します。

<https://www.aoyamaseizu.ac.jp/about/school/disclosure>

6. 評価基準及び学校関係者評価について

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像は、定められているか。 ②育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか ③理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。 ④社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。

自己点検評価: 4(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(2)学校運営	①理念に沿った運営方針を定めているか。 ②理念等を達成するための事業計画を定めているか。 ③設置法人は組織運営を適切に行っているか。 ④学校運営のための組織を整備しているか。 ⑤人事・給与に関する制度を整備しているか。 ⑥意思決定システムを整備しているか。 ⑦情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか。

自己点検評価: 4(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(3)教育活動	①理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。 ②学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。 ③教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。 ④教育課程について、外部の意見を反映しているか。 ⑤キャリア教育を実施しているか。 ⑥授業評価を実施しているか。 ⑦成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。 ⑧作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。 ⑨目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。 ⑩資格・免許取得の指導体制はあるか。 ⑪資格・要件を備えた教員を確保しているか。 ⑫教員の資質向上への取り組みを行っているか。 ⑬教員の組織体制を整備しているか。

自己点検評価: 4(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
-------------	-------------

(4)学修成果	①就職率の向上が図られているか。 ②資格・免許取得率の向上が図られているか。 ③卒業生の社会的評価を把握しているか。
---------	--

自己点検評価: 4(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(5)学生支援	①就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。 ②退学率の低減が図られているか。 ③学生相談に関する体制を整備しているか。 ④留学生に対する相談体制を整備しているか。 ⑤学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか。 ⑥学生の健康管理を行う体制を整備しているか。 ⑦学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか。 ⑧課外活動に対する支援体制を整備しているか。 ⑨保護者との連携体制を構築しているか。 ⑩卒業生への支援体制を整備しているか。 ⑪産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか。 ⑫社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか。

自己点検評価: 4(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(6)教育環境	①教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。 ③防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか。 ④学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか。

自己点検評価: 3(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(7)学生の受入れ募集	①高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか。 ②学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか。 ③入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか。 ④入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか。 ⑤経費内容に対応し、学納金を算定しているか。 ⑥入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか。

自己点検評価: 4(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(8)財務	①学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか。 ②学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか。 ③教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか。 ④予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか。 ⑤私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか。 ⑥私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか。

自己点検評価: 4(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(9)法令等の遵守	①法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。 ②学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか。 ③自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。 ④自己評価結果を公表しているか。 ⑤学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか。 ⑥学校関係者評価結果を公表しているか。 ⑦教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか。

自己点検評価: 3(5段階評価)

評価

○(ICT教育の重要性について)現状、AUTOCADからBIMにとって代わるという大きな流れにはまだなっていないが、国土交通省が「建築BIM推進会議」を開催し、国の施策としてBIMを推進している。働き方改革にも関わり、今後一気に業界に導入が進む可能性がある。授業ではプレゼンテーション用として主に教えているようだが、どのソフトを使用しようとも、BIMの概念を教えてさえいれば、今の若い学生は使用方法を覚えるのは早い。今のBIM導入に対する授業における取り扱い方は問題なく、続けた方が良いと思う。

○BIMを扱える能力がある学生がどんどん出てくることを期待したい。

○18歳人口の減少という事実はあるが、安定的に学生に選んでもらえる学校であるために、教育や学校運営の質の向上、情報公開への取り組みなど期待する。